

事務事業名		上村観光施設維持管理事業		会計		一般会計		実施区分			
H28担当課等名		観光課		H28係等名		遠山郷観光振興係		H27係等名		遠山郷観光振興係	
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり							
		施策	11	支え、育む産業基盤づくり							
目的	対象(誰・何を)	上村の地域振興施設						指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	指定管理先と連携し、営業販売力を向上させる						指定管理施設数		9	
	向上させたい上位施策の成果指標	既存事業者の消費額(観光)飯田下伊那 H22 102億円 → H28 129億円						販売額(万円)		11400	
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	指定管理施設数			9	9	9	-			
	成果指標	販売額総額(万円)			13500	11400	13500	-			
定性目標											
事業概要	<p>上村地区の地域振興施設は、合併前の上村時代に設置された施設である。営業力を高めるため、平成23年度より、それまで個別指定管理されてきた6つの施設に加え、直営により管理していた3施設を含めた9施設を包括指定管理化した。包括指定管理先が経営軌道に乗るまでの必要な支援を行なう。各施設の活性化が上村及び遠山郷全体の観光振興につながる為、必要な施設の整備について順次実施していく。観光客が来訪するにあたって地理的制約のある下栗地区への観光客増加に伴う受入れ体制の整備を行い、地元住民の生活環境を守ると共に観光客が安心安全に下栗を観光できる仕組みを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上村地区観光振興施設の維持管理(ハイランドしらびそ、喫茶かみ、農産物直売施設、農産物加工所、はんば亭、村の茶屋、高原ロッジ下栗、大平研修センター、大島河原キャンプ場)</li> <li>・下栗地区への観光客及び観光車輛増加対策の実施(観光案内所の設置、観光来訪車輛の安全管理)</li> </ul>										
	事業内容					名称				活動指標	
27年度事業内容	1 観光施設の維持管理				1				1		
	2 指定管理者への指導監督助言				(1) 指定管理施設数				(1) 9施設		
	3 観光施設の大規模改修				(2) その他施設数				(2) 5施設		
	4 下栗の里観光客受入れ体制の整備				2 月次経営報告会の開催				2 12回		
					3 改修施設数				3 2施設		
				4				4			
				(1) 観光客受入れ数				(1) 64,238人			
				(2) 観光案内所の運営				(2) 4月～11月			
				(3) 交通誘導の実施				(3) 4月～11月			
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		50,646	56,798	56,715	43,406	【平成27年度特定財源】					
国庫支出金						(県)市町村合併特例交付金					
県支出金		31,718	36,000	36,000	25,600	(そ)過疎地域自立促進基金繰入金 1,300千円					
起債			600		1,100	(そ)諸収入 1,458千円					
その他		1,477	1,400	2,758		【平成28年度特定財源】					
一般財源		17,451	18,798	17,957	16,706	(県)市町村合併特例交付金					
人件費計(千円)②		7,152		7,152		(地)過疎対策事業債					
正規職員所要時間		2,000		2,000							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		57,798	56,798	63,867	43,406						
事業内容・目標達成状況の振り返り		包括指定管理は最終年となったが、その間、それぞれの施設間の連携が進んだ。特にしらびそ高原及び下栗の里への大幅な観光客の増加に対応するための施設改修を実施し、利用者の安全性及び快適性を確保するとともに、施設の景観のリニューアルを図った。									
改革改善の考え方	①問題点	施設の経年劣化が進む中、相変わらず維持管理にかかる経費は増加している。観光客増加に対応する地元の受け入れ体制が徐々に整いはじめてきたが、まだまだ観光によるメリットを享受できていない。									
	②改革提案	観光客増加に対応する体制整備は、各種補助金を活用して実施する。施設の収益向上、維持管理については、H24にまとめた将来的な施設のあり方に基づき、指定管理先と連携し、改善を図っていく。また、南アルプスのユネスコエコパーク・ジオパークを観光分野で地域資源として有効活用する。									